ＰＴＡ便り

令和５年７月吉日
横浜市立庄戸小学校
ＰＴＡ会長　内田亜紀恵
校　　長　山口洋幸

夏休み直前、いかがお過ごしでしょうか？コロナの制限が明けた今年は、学校行事や校外学習、地域の方や外部講師をお招きした学習など多岐にわたる生の体験が行えている様子は、学校に出向いても活気があります。非常に嬉しい光景です。

また、先生方はマスクを外して、子どもたちに豊かな表情をお見せくださり、たくさん笑顔を届けてくださっています。ありがたいです。

PTA スポット活動では、交通安全教室のお手伝い・学校保健委員会の授業に参加・ベルマーク整理等行っていただきました。

太鼓と交換に近づいた！🔔感謝

主任児童委員のご紹介

【主任児童委員とは】

地域の子どもたちが元気で安心して暮らせるように、様々な活動をするボランティアです。
本校担当の主任児童委員は２名です。

【こんなことをします】

●「身近な大人」として、子供たちを見守ります。
●「近所の相談相手」として、子育て中の不安や悩みごとを
一緒に考え必要に応じたお手伝いをします。

☆子どもや子育てについて「困ったな」「どこに相談したらいいのかな…」という時はぜひお気軽にご連絡ください。ご相談に関するプライバシーは、堅く守ります。

◎問合せ先◎
栄区役所　福祉保健課　運営企画係
TEL:045-894-6963
FAX:045-895-1759

こちらにお問い合わせいただくと担当地区の主任児童委員に連絡がいきます。

横浜市学校保健会　栄支部　総会での提言

「しなやかな心で生き抜く力を育む」

小山台中学校の養護教諭の今井先生のお話を伺いました。以下に概略を掲載します。

「子どもたちが、生きていくこれからの時代は、不安定で予測不可能な時代である。

なので、**その状況をしなやかに受け止めて適応し、立ち直り、回復する力（レジリエンス）を高めることが大事である。」**

「レジリエンスを高めるためには、

① 自分の思いをポジティブにとらえようとする。

② 自分の思い込みの傾向を知り、少しづつでも修正する。

③ １人で悩まず、誰かに相談してみる。」と言われていました

栄区中学校養護教諭部会では、「しなやかな心を育む」ための要素を

① 自己肯定感や自尊感情を高める

② 困難なことに挑戦する力を高める

③ 多様な価値観があることを認識し、柔軟性を持って他者を受容できる力を高める

と、言われていました。

Q これから難しい時代であるなら、親は、何ができる？

＜例＞

☆「こどもを変える前に、しなやかな心を持つ親に自らを変える」

・こどものがんばりを認める～他の子と比べない

～その前に、親も自身のがんばりを労う（例　今日も、家事をよくやった～等）

・失敗の原因探しより、チャレンジした勇気を称える

～その前に、親も新しい事に挑戦してみる（例　見知らぬ人に挨拶してみる等）

☆「相談できる人を持つ」

・親ではなく、きょうだいでもなく、こどもが信頼できる人（先輩・親戚・課外活動の指導者等）との出会いを求める

～親も信頼できる人との縁を求める

・こどもが築く友人関係を信頼する

～

☆「夢を持つ　応援する」

・